

2026年5月15日

各位

会社名 ヒーハイスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾崎 浩太
(証券コード：6433、東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 佐々木宏行
(TEL. 049-273-7000)

特別損失（減損損失）の計上及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）におきまして、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしました。また、2025年11月12日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）において、当社グループが保有する生産設備等を現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失413百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、減損損失の計上により、翌期（2027年3月期）の減価償却費については、約60百万円負担が減少する見込みであり、併せて原価低減、生産性向上に努めて参ります。

2. 業績予想値と実績値との差異について

2026年3月期の通期連結業績予想値と実績値の差異
(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,603	△216	△295	△340	△54.61
今回実績値 (B)	1,636	△262	△299	△718	△115.18
増減額 (B-A)	33	△45	△3	△377	
増減率 (%)	2.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	2,245	△121	△189	△203	△32.62

3. 差異理由

売上高につきましては、直動機器の回復が見られ、予想を上回りました。

利益面につきましては、原材料価格や物流コストの増加により製造原価が上昇したことに加え、固定資産の減損処理により前回公表値を大きく下回る結果となりました。

以上